

## 角膜の「ウロコ」に効く越婢加朮湯

**Q** 二十六歳、女性。五年前からコンタクトレンズを使用してきました。昨年からは眼の縁（ふち）がただれやすく、眼瞼（がんけん）結膜炎と診断

されて、治療を受けてきました。風や外気にあたると涙がでて止まらなくて困ります。また白目の端に三角の「ウロコ」のようなものができたため、眼科で切除してもらいました。漢方に何かよい薬はありませんか。服薬上の注意も教えてください。

**A** 質問者の言う角膜にできる「ウロコ」のようなものは翼状片と呼ばれている。三角形の形をした結膜組織の先端が角膜上に進入したもので、ガラス状の膜が角膜をおおうようにみえる。角膜中央部まで広がると視力障害を起こすこ

とから眼科では切除している。原因は不明だが、コンタクトレンズの刺激による可能性もあるので使用をやめた方がよい。

この種の病気に非常によく効く漢方薬は越婢加朮湯（えっぴかじゅつとう）である。角膜や結膜の慢性炎症によるめやにや涙で、目もとや眼瞼がただれたときに劇的な効果を現す。翼状片のようなものにも効き目を発揮する。主として炎症と浮腫（ふしゅ）や発汗傾向、尿の出にくい症状に処方される。

ただ胃腸が弱い人が服用すると、食欲低下や胃痛が起こる場合がある。麻黄（まおう）という生薬を相当多く含むためだ。甘草（かんぞう）という生薬も含むので血圧上昇やむくみに対する注意も必要である。